

=====  
統計メールニュース No.1425 (2022.2.28)

このメールは、配信登録された方に無料で送信しています。

=====  
【本日の公表データ】

■令和2年国勢調査 移動人口の男女・年齢等集計

移動人口の男女・年齢等集計は、全ての調査票を用いて、平成27年国勢調査時の常住地(5年前の常住地)と令和2年国勢調査時の常住地を比較することにより、人口の転出入状況について男女・年齢別等に集計したものです。

○常住者(現住地による人口)を5年前に住んでいた場所別にみると、現住所以外に住んでいた人口(以下「移動人口」という。)は2867万2千人(22.7%)で、常住者の2割がこの5年間に住所を移動している。

○年齢5歳階級別人口に占める移動人口の割合をみると、25～29歳が56.6%と最も高く、次いで30～34歳(53.8%)、20～24歳(44.1%)などとなっている。

○転入超過率は、東京都が4.5%と最も高く、次いで千葉県(1.7%)、福岡県(1.5%)などとなっている。

○転出超過率は、青森県が2.5%と最も高く、次いで秋田県(2.1%)、長崎県(1.8%)などとなっている。

<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html>

※上記の各結果数値は不詳補完値による

■サービス産業動向調査(2021年12月分(速報))

○月間売上高は33.6兆円。前年同月比1.9%の増加

○事業従事者数は2924万人。前年同月比1.0%の減少

<https://www.stat.go.jp/data/mssi/kekka.html>

=====  
□誰でも無料で学べるオンライン講座「誰でも使える統計オープンデータ」開講中!

社会人・大学生に、政府統計の総合窓口 e-Stat や統計 GIS、API 機能を使い、統計オープンデータを活用したデータ分析の手法を分かりやすく解説していますので、是非、御受講ください。

<https://gacco.org/stat-japan3/>

=====  
□誰でも無料で学べるオンライン講座「社会人のためのデータサイエンス演習」特別開講中!

「誰でも使える統計オープンデータ」と併せて学習していただくことで、より理解が深まります。

是非、御受講ください。

<https://gacco.org/stat-japan2/>

=====  
□労働力調査、家計調査、小売物価統計調査を始めとした統計調査へのご理解・ご協力をお願いします。

10月、広報ページをリニューアルしました!

「明日のくらしが見えてくる。」（統計調査紹介ムービー）

<https://youtu.be/mY4TF6VE0BU>

=====

配信先の変更・配信中止など

<https://www.stat.go.jp/info/mail/index.html>

※統計データの入手先に関する問い合わせ、統計調査に関する Q&A

<https://www.stat.go.jp/training/toshokan/faq.html>

=====

このメールにお心当たりがない方は、大変お手数ですが下記までご連絡ください。

総務省統計局統計情報利用推進課

[stat\\_m-news@soumu.go.jp](mailto:stat_m-news@soumu.go.jp)